

## フォーラム

### 『『起業』から関西の経済再生を考える』

日 時：平成 28 年 7 月 2 日（土）13：30～16：00

場 所：尼崎市中小企業センター 1 階ホール

共 催：公益財団法人尼崎地域産業活性化機構

（文中敬称略）

#### ■あいさつ

一般社団法人 日本計画行政学会 関西支部長  
濱田 学昭 氏

日本計画行政学会は、皆様にとってあまり馴染のない学会かと思しますので、学会の紹介を兼ねて少し説明させていただきたいと思ひます。

わが国では、高度経済成長を迎えた 1970 年頃に、全国総合開発計画や所得倍増計画に伴う行財政の長期計画、それから大型公共施設をつくるための公共投資計画等、大型の計画が次々につくられました。それらは主に経済企画庁や当時の建設省等、官庁の専門家たちがつくった計画です。それに対して、大学の方では計画学を研究することになり、計画を研究するグループが育ってきました。

ところが、行政で計画をする人たちと大学の研究者との間にあまり交流がなかったため、同じことを目指しているのであれば交流する必要があるのではないかということから、研究者と実務者と行政の担当者間で交流しながら計画というものを考えていくことになり、さらに、科学的に政策立案に取り組もうという考えから、今から 40 年ほど前に日本計画行政学会つくられました。その後、北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州に各支部でき、支部ごとに活動をしています。

本日、ここに開催させていただくのは関西支部の研究大会で、支部の研究大会は年に 1 回行われています。本日はその大会の 1 つです。また、尼崎市におかれましては市政 100 周年を迎えられたこともあり、100 周年を記念して尼崎地域産業活性化機構と共同して、本日『『起業』から関西の経済再生を考える』というテーマでフォーラムを開催させていただきました。

今、わが国でも起業は大きな問題となっています。ただ、これは起業する方の質の問題であると共に、支援する金融機関、さらに言えば、地域社会全体がものを育てる力を持つことも、起業を育てるという意味では非常に大きな問題ではないかと思ひます。

本日は講師の方からそれについて具体的なお話を聴かせていただき、何を行っていく必要があるのかということをお客様と一緒に考え、議論していただければと思ひています。

最後になりましたが、皆様方のファイルの中に日本計画行政学会の案内を入れさせていただきました。実は今、学会自体も再生の必要を感じています。当初は研究者と行政の担当者あるいは専門家が横断的に交流して、現場のことを

よく考えた研究をしようという機運が高かったのですが、残念ながら次第に横の連携が薄くなり、学会というと「研究者だけの集まり」というような感が強くなって、一般社会から少し遊離した形になるきらいがあります。

しかし、それは本来の学会が目指すところではなく、特に、日本計画行政学会はそのようなところではありません。人のつながりが少なくなって、次第に横のつながりもなくなっていますので、是非、本日の機会を捉えて、日本計画行政学会に興味を持っていただき、できればご入会いただきたいと思っております。

最後は学会の宣伝になって申し訳ありませんでしたが、挨拶に代えさせていただきます。